

平成 27 年度滋賀県がん診療連携協議会・第 1 回研修調整部会 議事概要

| | |
|-----|--|
| 日 時 | 平成 27 年 7 月 7 日 (火) 18 時 00 分～19 時 15 分 |
| 場 所 | 滋賀医科大学医学部附属病院 D 病棟 1 階 多目的室 |
| 出席者 | 滋賀医科大学医学部附属病院 (部会長：村田副病院長、多川看護臨床教育センター准教授)、大津赤十字病院 (副部会長：山中第一呼吸器科部長、北川看護部副部長)、滋賀県立成人病センター (副部会長：財間副院長、下村看護部副部長、打田主査)、公立甲賀病院 (中村看護部看護師長)、彦根市立病院 (吉川診療局主任部長)、市立長浜病院 (山岸看護局係長)、高島市民病院 (武田診療部外科科長、澤井外来診療看護師長)、大津市民病院 (高見総合内科部長)、済生会滋賀県病院 (馬場病理診断科部長(代理：川添))、近江八幡市立総合医療センター (迫副院長、(随同行：嶋田))、長浜赤十字病院 (中村医療社会事業部長)、滋賀県医師会 (大西理事)、滋賀県歯科医師会 (森田常務理事)、滋賀県薬剤師会 (瀧川介護福祉委員会委員)、滋賀県看護協会 (宮本常務理事兼教育部長)、滋賀県放射線技師会 (平田常務理事)、滋賀県臨床検査技師会 (岩井副会長)、滋賀県歯科衛生士会 (玉井理事)、滋賀県健康医療福祉部 (要石健康医療課がん・疾病対策室室長補佐(代理：奥井)) 【オブザーバ】 滋賀県がん患者団体連絡協議会 (菊井会長、冨田さん、奥井さん) 【部会事務局】 滋賀医科大学医療サービス課 (黒瀬課長補佐、中森専門職員) |
| 欠席者 | 公立甲賀病院 (山崎放射線科部長)、彦根市立病院 (木下外来科長補佐)、市立長浜病院 (田久保呼吸器外科責任部長)、草津総合病院、東近江総合医療センター (辻川副院長)、滋賀県栄養士会 (岩川副部長) |

1. 報告

次の新規部会員の紹介があった。

| | | |
|-------------|-------|---------|
| 滋賀県立成人病センター | 下村美津子 | 看護部副部長 |
| 滋賀県歯科医師会 | 森田 潤 | 常務理事 |
| 滋賀県立成人病センター | 打田 拓也 | 経営企画室主査 |

また、今年度からはオブザーバーとして、がん患者団体連絡協議会の皆様に、毎回参加いただくことになったこと、本日は、菊井会長、冨田さん、奥井さんの 3 名の方に参加いただいていることの紹介があった。

新年度の第 1 回目の部会であり、部会員の異動もあったので、改めて研修調整部会の役割について次の説明があった。

滋賀県におけるがん医療の向上と均てん化を図るとともに、がん診療の連携協力体制を構築するため、「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」(厚生労働省指針)および「滋賀県がん対策推進計画」に基づき、滋賀県がん診療連携協議会が設置された。本協議会のもとに企画運営委員会と 6 つの部会(相談支援部会、地域連携部会、がん登録推進部会、診療支援部会、研修調整部会、緩和ケア推進部会)がそれぞれ役割を持ち活動している。

研修調整部会の役割としては、

- ・がん診療連携拠点病院が実施する、各種研修に関する計画の作成に関すること。
(ただし、他の部会の所管に関するものを除く)

部会長病院は滋賀医科大学、副部会長病院は滋賀県立成人病センターと大津赤十字病院に担当していただいている。

- ・前回3月4日の議事概要を確認した。

2. 議題

(1) 平成27年度の取組について

1) アクションプランの確認について

(資料1)

27年度アクションプランシートに掲げている次の実施施策及び年間スケジュールについて確認した。

- ①支援病院の役割、連携の検討
- ②分野毎の講演会、研修会等の過不足の改善検討
- ③フォーラム・講演会等開催情報一覧表の表示項目の検討
- ④県内等一の看護研修会の実施

年間スケジュール

- ・部会を3回開催(6(7)月、10月に中間評価、3月に最終評価)
- ・看護ワーキングによる「がん看護研修会プログラムⅡ」を実施する。
- ・講演会、研修会等一覧表の日程を最新化してサイトにアップし、調整しながら実施していく。

2) がん関係フォーラム、講演会等開催予定、受講人数について

(資料2-1、2-2、2-3)

資料2-1は、平成27年度がん関係フォーラム、講演会等開催予定情報の6月末現在のがん患者さん・一般向けと医療従事者などの専門職向けを併せた全体版。それを基に開催医療圏別、対象者別、内容別にしたものが資料2-2。

なお、内容別についての表は、項目を見直し、胆のうがん、膵臓がん、骨髄腫を「その他がん」に纏め、また、新たに補完代替療法、精神ケア、リンパ浮腫、検診がん相談、情報・制度・就労を追加し、また、予防を予防・検診に改めた。

また、内容別のその他の47件の内訳を資料2-3に表している。

医療圏別、対象者別、内容別にした表をもとに次の意見等があった。

- ・少ないところと数多く計画していただいているところがある。
- ・湖西医療圏は、がん診療病院に指定されたところであるので今後計画していただけている。
- ・東近江医療圏は滋賀医科大学が拠点病院であるが今のところ少ない状況にあるので申し訳ないと思っている。

甲賀医療圏もやや少なめになっている。

逆に、大津、湖南、湖東、湖北等は数多く計画されている。何か特別に工夫されていることとかあれば伺いたい。

- ・大津圏は患者数が多いとか、大きい病院が比較的多いとかの要素はあると思える。
- ・地域に関わらず比較的充実しているものとして緩和ケアはどの地域でも開催されている。また、それから派生してリンパ浮腫についても同様に開催されている
- ・市立長浜病院では、参加者が実績で1名と少ない催しも参加される方がおられる限り計画実施している。
- ・東近江圏は、滋賀医科大学が拠点病院であるが離れていることから少なくなっている状況にある。今後、支援病院と検討していくことを考えている。
- ・甲賀圏域では、甲賀病院だけが実施している状況である。地域に他の病院もあるので連携を取るべきではあるが、なかなか厳しい面がある。院内でも看護師2-3名で企画から行っており、マンパワー面でも厳しい面がある。

がん診療の均てん化という面からも、少ないところは、多いところの取組み等を見ていただき、引き続き努力とご協力をお願いする

3) 看護作業部会が中心となっていくがん看護研修の実施について (資料3)

多川看護WGリーダーより次のとおり説明、報告した。

- ・平成25年度から、がん看護の均てん化を図るために、すべての2次医療圏において12科目同内容のプログラムで研修を計画して開始し、25年度は134名、26年度は135名が受講している。
- ・今年度は、25、26年度で受講できなかった方々、受講漏れのあった方々を対象として市立長浜病院で実施していただいている。
- ・プログラムⅠの12科目全てを受講していただいた方を対象に、プログラムⅡ(実習)を計画して、26年度は9名が受講した。
- ・27年度は、8月中に募集をして10月から開始することとし、各拠点病院2名を受け入れていただき実習をする予定をしている。

内容は、一般病棟(緩和ケアを含む。)4日間、化学療法2日間、放射線療法1日間に開講式、閉講式を加えた9日間としている。

- ・平成26年度プログラムⅡ修了生(9名)を対象にしたフォローアップ研修を12月4日に開催する企画をしており、研修受講後に各病院で看護の質向上に寄与するために取り組んだことについて報告していただくこととしている。すべてを修了した方には、今年度作成したバッジをお渡しすることとしている。

がん看護研修WGにおいて着実に実施していただいている。Ⅰを修了した方は多数で、Ⅱも修了者を出していただいている。今年度も引き続きよろしくお願ひしたい。

4) がん情報サイトについて

(資料4)

「がん情報しが」 <http://www.pref.shiga.lg.jp/ganjoho/>

昨年度準備を行い、4月から滋賀県のがん情報サイト「がん情報しが」が公開され

たことを機会として、ご意見等をいただいていた、がん関係フォーラム、講演会等開催予定をアップし、クリックするとより詳しい情報を見ただけのようにリンクを貼った。現在、年度初めでまだ情報が少ないが、徐々に充実していくと考えているので広く活用していただきたい。

また、各病院や団体のホームページに、がん情報しがのサイトのリンクを貼るなど、サイトの広報活動に御協力いただきたい。

5) 国立がん研究センターの受講調整について (資料5)

事前にメールで部会員の皆様には照会させていただいたが、国立がん研究センター主催の研修で都道府県からの推薦を必要とするもののうち、研修調整部会で調整が必要と思われる次の研修について検討した。

- ①がん化学療法医療チーム指導者養成研修
- ②地域におけるがん化学療法研修実施にかかる指導者養成研修
- ③地域で抗がん剤治療調剤に携わる薬剤師を育成するための指導者養成研修

①については3月の部会で、平成27年度：彦根市立病院、平成28年度：市立長浜病院の順で受講することが了承されている。

②については一部詳細が決まっていないこともあり、各病院に持ち帰ったうえで検討していただき、希望があれば連絡していただくこととした。なお、滋賀医科大学は希望しないこととした。

③についても一部詳細が決まっていないが、事前の意向確認で、希望する旨の連絡があった病院は、市立長浜病院、公立甲賀病院、成人病センター 希望しない旨の連絡があった病院は、彦根市立病院、滋賀医科大学 であった。

部会員から、対象病院の種類として、「がん診療連携拠点病院医療従事者を優先」と記されているが、支援病院も申込可能かとの質問があり検討した結果、限定ではなく優先の表現に変更されているため申込は可能と判断し、要件が変更になったことから、各病院の方針も変更されるところがあるかもしれないので、これらの研修に関しては各病院で再度検討して希望の有無を事務局まで連絡いただき、とりまとめたうえで改めて調整することとした。

(2) 今年度各団体の取組予定について (資料6)

各団体の取組予定等について、次のとおり報告があった。

(滋賀県医師会)

まだ白紙である。なお、6月18日に理事改選で、大西部会員も理事退任となり、次回は新任がこの部会に参加することになることの説明があった。

(滋賀県歯科医師会)

1) がん患者の口腔ケアに関する研修会の実施

DVD視聴形式の全国共通がん医科歯科連携講習会で、昨年3回、今年も既に1回実施した。会員の基礎的な口腔ケアの知識を得ることを目的として実施している

- 2) 口腔がん検診の啓発のための公開講座および歯科相談の実施
- 3) 歯科医師および歯科医療従事者の「口腔がん」に関する研修を現在検討中
以上の、項目を行う。

(滋賀県薬剤師会)

- ・滋賀県薬剤師会認定在宅ホスピス薬剤師のフォローアップ
- ・医療用品共有システムおよび在宅医療推進のための薬局機能情報サイトの継続運用
- ・滋賀医大や成人病センター等で行われるがん関連の研修会への参画
- ・抗がん剤および無菌調製研修会の開催

市中の薬局でも抗がん剤を取り扱うために安全キャビネットを設置することになり、その為の研修会として実施する

(滋賀県看護協会)

先月支部役員が交代したので新役員が企画立案中で、決定したら案内させていただく。

その他 看護フェア等で専門看護師が参加して相談を受けるなどトピックス的に交流会等を検討している段階である。

看護協会のホームページに、がん情報しがのリンクをはった。

(滋賀県放射線技師会)

がんに関する学術研修会を2回開催する。(6月28日、11月8日予定)

第1回学術研修会は、6月28日に開催し、57名の方に参加していただいた。

第2回学術研修会

日 時： 平成27年11月8日(日) 13:30~16:30

場 所： 彦根勤労福祉会館 大ホール

内 容： 「転移検索検査の紹介・工夫」(以下4施設の若手技師に依頼予定)

大津赤十字病院、長浜赤十字病院、済生会滋賀県病院、公益財団法人豊郷病院

「特別講演」 仮) 転移検索と画像診断について 講師は未定(放射線科医)

一般向けの内容とは言えないが、一般の方も参加可としている。

その他として、まだ公開していないが、平成28年2月14日にピアザ淡海で一般向けのがんに関する催しを企画中である。

(滋賀県臨床検査技師会)

- ・地域の皆様に密着したがんに関する啓発活動として、各地域の健康フェスティバル(長浜市、東近江市、湖南市、大津市)に参加する予定をしている。
- ・県民対象として、11月15日に検査と健康展を実施予定としている。
- ・医療従事者対象として、子宮がん検診従事者講習会を健康づくり財団と共催という形で、内容は、細胞診検査とワークショップを実施予定としている。さらに医療従事者研修会として9月5日に、「乳がん」をテーマでも催しを実施予定としている。

(滋賀県歯科衛生士会)

28.3.6に口腔がんについて、歯科医師からのお話と衛生士としてどのような関わりができるかという研修会を開くことになっている。

衛生士会としては年1回の開催が精いっぱいではあるが、毎年必ずがんに関することを勉強して業務に役立つ内容にして行こうという段階である。

(滋賀県栄養士会) 欠席

(近江八幡市立総合医療センター) 東近江医療圏においては、滋賀医科大学医学部附属病院、東近江総合医療センター、近江八幡市立総合医療センターの3病院で、9月23日と11月1日に市民公開講座を計画しており、テーマは、9月23日は早期がんの診断と治療、11月1日は乳がんを中心とした化学療法を予定している。

(高島市民病院) 4月から地域がん診療病院に指定されるので、今以上に啓もう活動を進めたいと思っている。病院として地域医療を主体としているので、病院から積極的に出向くということを中心にしていきたい。

(3) PDCAサイクルについて

(資料7)

今年度、研修調整部会のPDCAサイクルのPlan(計画)は、「各医療機関、団体が主催する講演会、研修会等の満足度ならびに参加人数」としており、参加人数でどれくらいの方に来ていただけたか、参加した方がどの程度満足していただけたかということを目安として、その研修会講習会の妥当性を検討し、それをチェックして次の改善につなげていくという方針で進めている。

具体的には、より参加していただく方を増やすということで広報活動が重要になってくるので、Do(実行)として「フォーラム・講演会等開催情報一覧表の表示項目の検討」をするとともに滋賀県のがん情報サイトにも研修会講演会等の情報をアップして参加していただくための情報(関係ホームページやチラシなど)をリンクさせて見ていただきやすくしている。

なお、毎月末締めで講演会等開催情報の最新の情報と、実施した講演会等の満足度や参加人数を結果としてご報告いただき、これをもとに年度末にCheck(評価)し、来年度のAction(改善)に活かすことを検討することになっているので、今後とも御協力いただきたい。

(4) その他

①滋賀県健康医療福祉部健康医療課から次の説明があった。

県のがん対策の概要について

がん対策の理念・方向性と計画について、平成25年12月に滋賀県がん対策推進条例ができてがん対策を一層強化していくことになった。この後に、滋賀県がん対策推進基金として確保された財源をとることになった。

・条例は次の構成になっている

第2章 予防と早期発見

第3章 質の高いがん医療

第4章 患者と家族の生活の質の向上

第5章 患者・家族を支える社会の構築

第6章 がん対策の推進

具体的な取り組みについては、滋賀県がん対策推進計画を平成25年度から29年度までの5年間の計画を立てており、これは現在、第2期の取り組みで、この計画に沿って様々な取り組みをしていただいているところである。

また、行政として、平成 27 年度具体的な取り組みについては、

第 2 章 予防と早期発見

- ・乳がん検診集合契約：県内のどの医療機関でも、どこに住所があっても、どの市町村でも検診を受けられるように、検診の機会を多く持つてもらえるように進めている。

- ・がん検診の個別勧奨促進事業：一番大切なのは早期発見と考えるので、がん検診の対象でありながらまだ受診されていない方を対象に個別に勧奨するという取り組みを行っている。実際に実施する市町村に補助金を交付している。

- ・がん対策情報サイト開設事業：がん対策のホームページを昨年度新設したところであるが、早速今年度はバージョンアップに取り組みたいと考えているので、皆様から利用者の目線でご意見を健康医療課にお聞かせいただきたい。

- ・図書館による情報提供事業：今まで病院を中心にがんの情報提供に取り組んでいただいているが、新たに図書館から市民に向けて講座を開いたり、図書を入れていたり、がん情報も発信してほしいとの提案があるので進めていただいているところである。

- ・がん相談支援強化事業費補助金：がん診療連携支援病院に相談支援の強化として本年度から補助金を出すこととした。

- ・団体・民間等自主事業補助金：がん対策推進基金等言う県の財源を活用して、県民のために事業を実施する団体・個人に補助するものであり、昨年からはまったりライフ、がん患者団体連絡協議会主催の患者力向上事業などの取り組み等に活用いただいている。

- ・がん患者生活実態調査：がん患者の経済的困窮が深刻なのではないかとのご意見をいただいているので、今年度まず実態調査を行う。

- ・がん患者の就労促進のための事業所啓発事業：事業所の方にはがん患者に対するご理解をいただくよう、県から出向いて理解を得るかたちで研修会を開いていく。

- ・小児がん患者支援事業：小児がん患者のニーズの把握、対策の検討を行う

- ・小児がん患者ピアカウンセリング：小児がんを体験されたご家族からピアカウンセリングをしてみたいとの声があり、自主事業補助金で前向きに実施していただいている。

- ・全国がん登録移行事業：来年 1 月からがん登録法が施行されることになり、病院はがん登録をすることが義務になり、診療所においてもがん患者を診断されているところは手あげしていただくことで指定制にして登録していただくことでこれまでより登録率が高くなることが考えられる。これの医療機関向け周知にも取り組んでいく。

- ・学校でのがん教育が少しずつ活発になっている。昨年度は、小学校、中学校各 2 校をモデル校に指定してがん教育のモデル的な試みがあったが、今年度は各学校で自発的に実施していただくことになっている。標準的な授業進行の資料として県でパワーポイントを作成しており、それをもとにした授業していただくが、ゲストティーチャーを希望される場合も出てくるかと思うので、そのときには皆様に協力を

お願いしたい。子供のころからがんというものを理解して行こうとする取り組みである。

・第6章第24条 滋賀県がんと向き合う週間 毎年2月10日からの1週間に集中的にイベント等の計画を行うというもので、がんと向き合う週間のアピールをして行っていただきたいと思っている。

・若いがん患者に向けた「滋賀がん・生殖医療ネットワーク」について、滋賀医大を中心につくられたネットワークで、県の方も県民への情報発信というところで協力したいと考え、本日7月7日、報道機関にお知らせをしている。既に新聞社3社から問い合わせもありNHKでは先行して報道もあり、非常に関心の高いものになっている。県議会においても議員から推進に協力するようにとのご意見もいただいているところである。皆様の所属におかれても周知いただき、患者様にもこういう治療があることを説明していただきたい。

・NPO法人 淡海かいつぶりセンター：JR瀬田駅前に3月に開設された。病院のがん相談支援センターと同じように診療支援の窓口になっている。特徴として、曜日によっては19時まで開所されているので昼間ご都合の悪い方も立ち寄りやすくなっている。プログラムには患者さんが開催されるターゲットを絞ったサロンもあるので、病院で開催されるサロンとともにご活用いただくことを周知願いたい。がん情報しがにも掲載を検討していきたい。

②滋賀県がん患者団体連絡協議会から、7月12日（日）にピアザホールで開催する「患者のための 滋賀県乳がん総会」についての詳細案内があり、参加していただくよう依頼があった。

③次回の当部会の開催は、改めて調整することとした。

【配布資料】

研修調整部会部会員名簿

前回議事概要（平成26年度 第3回研修調整部会 3月 4日開催）

（資料1） 滋賀県がん診療連携協議会アクションプランシート（研修調整部会）

（資料2-1）平成27年度がん関係フォーラム、講演会等開催予定情報 全体版

（資料2-2）平成27年度がん関係フォーラム、講演会等開催予定数

（開催医療圏別、対象者別、内容別）

（資料2-3）内容別：その他の内訳

（資料3） 「がん看護研修」プログラムⅠ 医療圏別受講者数

（資料4） 「がん情報しが」

（資料5） 国立がんセンター都道府県指導者研修（県の推薦必要な研修）受講予定一覧

（資料6） 平成27年度 各団体取組予定

（資料7） 平成27年度滋賀県がん診療連携協議会PDCAサイクルチェックリスト